

(資源エネルギーに関する調査会)

原子力等エネルギー・資源に関する調査報告要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成二十八年九月二十六日に設置され、三年間の調査テーマを「新たな時代に向けた我が国の資源エネルギー像」とし、このうち、一年目は「資源エネルギー情勢と我が国の対応」、二年目は「我が国の資源エネルギー戦略」を調査項目として取り上げ、調査を行ってきた。

最終年に当たる三年目においては、「我が国資源エネルギーの展望」を調査項目として、「気候変動と資源エネルギー」及び「資源エネルギーの安定供給」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。また、メタンハイドレートの研究等に関する視察を行った。次いで、この三年間の調査を踏まえ、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、調査報告書を取りまとめ、五月三十一日、議長に提出した。

本報告書においては、我が国のエネルギー政策、地球温暖化対策、技術革新、再生可能エネルギー、メタンハイドレート等に関する議論の概要を記すとともに、技術革新の実現に向けて強化すべき研究開発に関

し、経済発展と温室効果ガス排出量削減の両立、エネルギー分野におけるI・O・TやA・I等新技術の更なる活用、地域における再生可能エネルギー導入、水力発電の更なる活用、海洋資源エネルギー開発を主な項目とする提言を行っている。